

株式会社 トリケミカル研究所

第32期(2010年1月期)

第2四半期決算説明資料

大阪証券取引所ヘラクレス市場

証券コード:4369

目次

1. 2010年1月期第2四半期決算実績	3	2. 2010年1月期通期見通し及び戦略	19
2010年1月期第2四半期連結業績の概要	4	2010年1月期通期見通し(連結)	20
連結貸借対照表	5	2010年1月期売上計画の要因と課題	21
連結キャッシュ・フロー	6	売上進捗分析(ユーザー地域別)	22
連結販売実績	7	売上進捗分析(製品用途別)	23
連結販売実績(四半期毎推移)	8	売上進捗分析(シリコン半導体)	24
売上分析(ユーザー地域別)	9	2010年1月期利益計画の要因と課題	25
売上分析(ユーザー地域別抜粋)	10	トピック(1) 太陽電池向け材料①	26
国内販売実績(四半期毎推移)	11	トピック(1) 太陽電池向け材料②	27
海外販売実績(四半期毎推移)	12	トピック(2) 開発体制強化	28
売上分析(製品用途別)	13		
売上分析(製品用途別抜粋)	14		
製品用途別販売実績(四半期毎推移)	15		
Si半導体用途別販売実績(四半期毎推移)	16		
連結利益実績(四半期毎推移)	17		
2010年1月期第2四半期決算総括	18		

この資料に掲載しております当社の計画及び業績の見通し、戦略などは発表日時点において把握できる情報から得られた当社の経営判断に基づいております。
あくまでも将来の予測であり、様々なリスクや不確定要素により、実際の業績とは大きく異なる可能性がございますことをあらかじめご承知おきくださいますようお願い申し上げます。

1.2010年1月期第2四半期決算実績

2010年1月期第2四半期連結業績の概要

単位：百万円

	10.1期上期	計画値	計画比	09.1期上期	前年同期比	
					増減額	増減率
売上高	1,053	1,060	99.4%	1,893	-839	-44.3%
営業利益	-134	-155	13.4%の改善	372	-506	—
経常利益	-163	-185	11.8%の改善	389	-553	—
当期純利益	-171	-188	8.8%の改善	197	-368	—

！売上高はほぼ計画通りの数値
 ！利益面では計画比10%前後の改善

連結貸借対照表

単位:百万円

	09.1期末	09/7月末	増減額
流動資産	1,872	1,859	-13
固定資産	2,181	2,214	33
資産合計	4,053	4,073	19
流動負債	1,385	1,420	35
固定負債	276	457	180
負債合計	1,661	1,878	216
株主資本	2,406	2,204	-201
評価・換算差額等	-14	-8	5
純資産合計	2,391	2,195	-196
負債純資産合計	4,053	4,073	19

流動資産

手元資金積み増しによる現預金の増加	343
回収に伴う売上債権の減少	-222
生産調整及び出荷量の漸増によるたな卸資産の減少	-99

固定資産

第二工場用製造装置取得等による有形固定資産の増加	53
--------------------------	----

流動負債

設備・運転資金の調達による借入金の増加	161
設備の購入に伴う未払金の支払いによる減少	-151

固定負債

設備資金の調達による長期借入金の増加	169
--------------------	-----

純資産

純損失計上及び配当金支払いによる利益剰余金の減少	-192
--------------------------	------

連結キャッシュ・フロー

単位：百万円

	09.1期上期	10.1期上期	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	338	332	-6
投資活動による キャッシュ・フロー	-249	-290	-40
財務活動による キャッシュ・フロー	-29	300	329
現金及び現金 同等物の増減額	56	343	286
現金及び現金同等 物の四半期末残高	186	564	377

CFの状況等

営業CF

売上債権・たな卸資産減少、償却費計上 438

税前純損失計上 -163

投資CF

第二工場設備等固定資産の取得 -289

財務CF

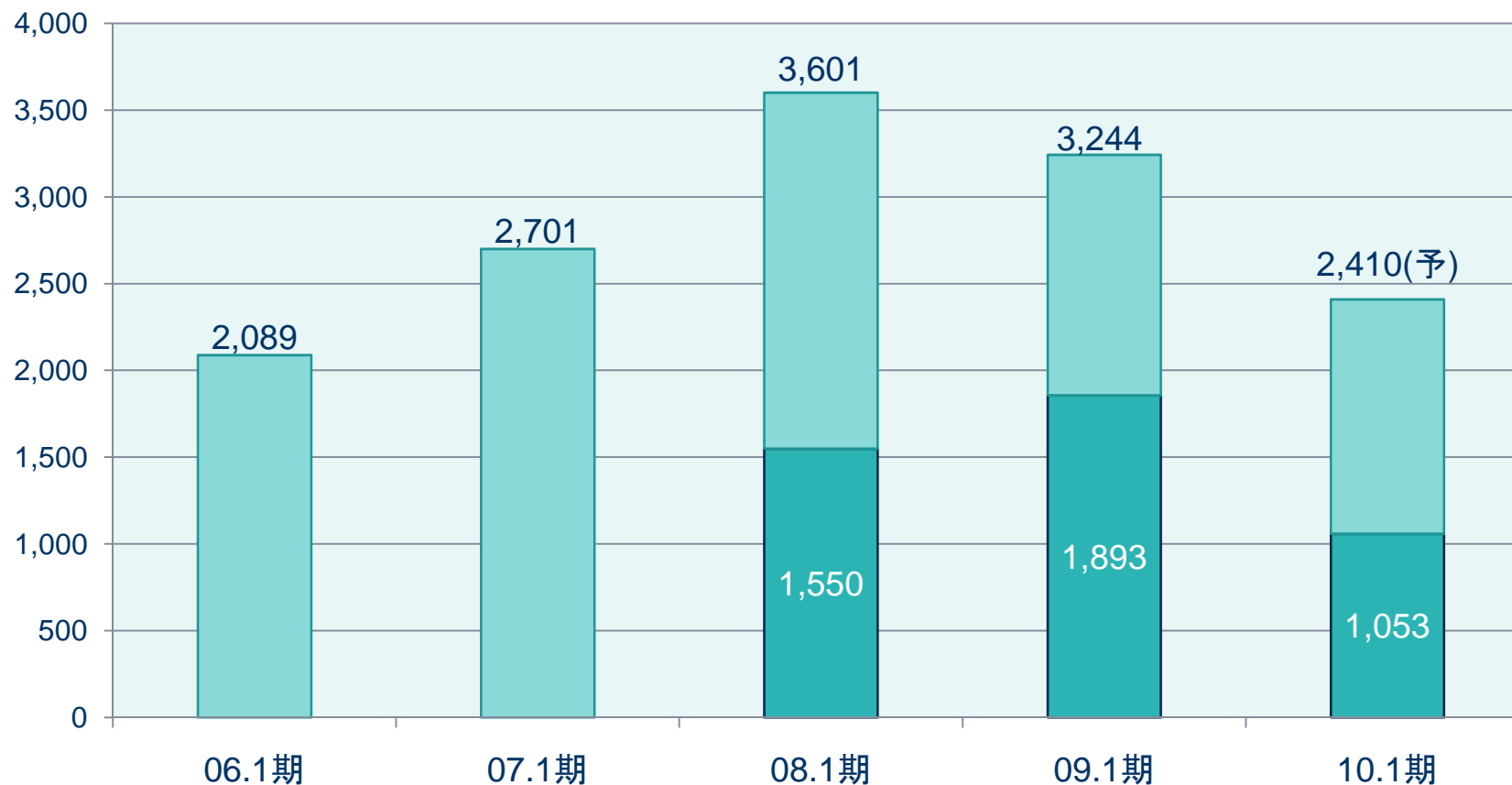
長短借入れ 331

配当金支払い -21

連結販売実績

(下部は上期実績)

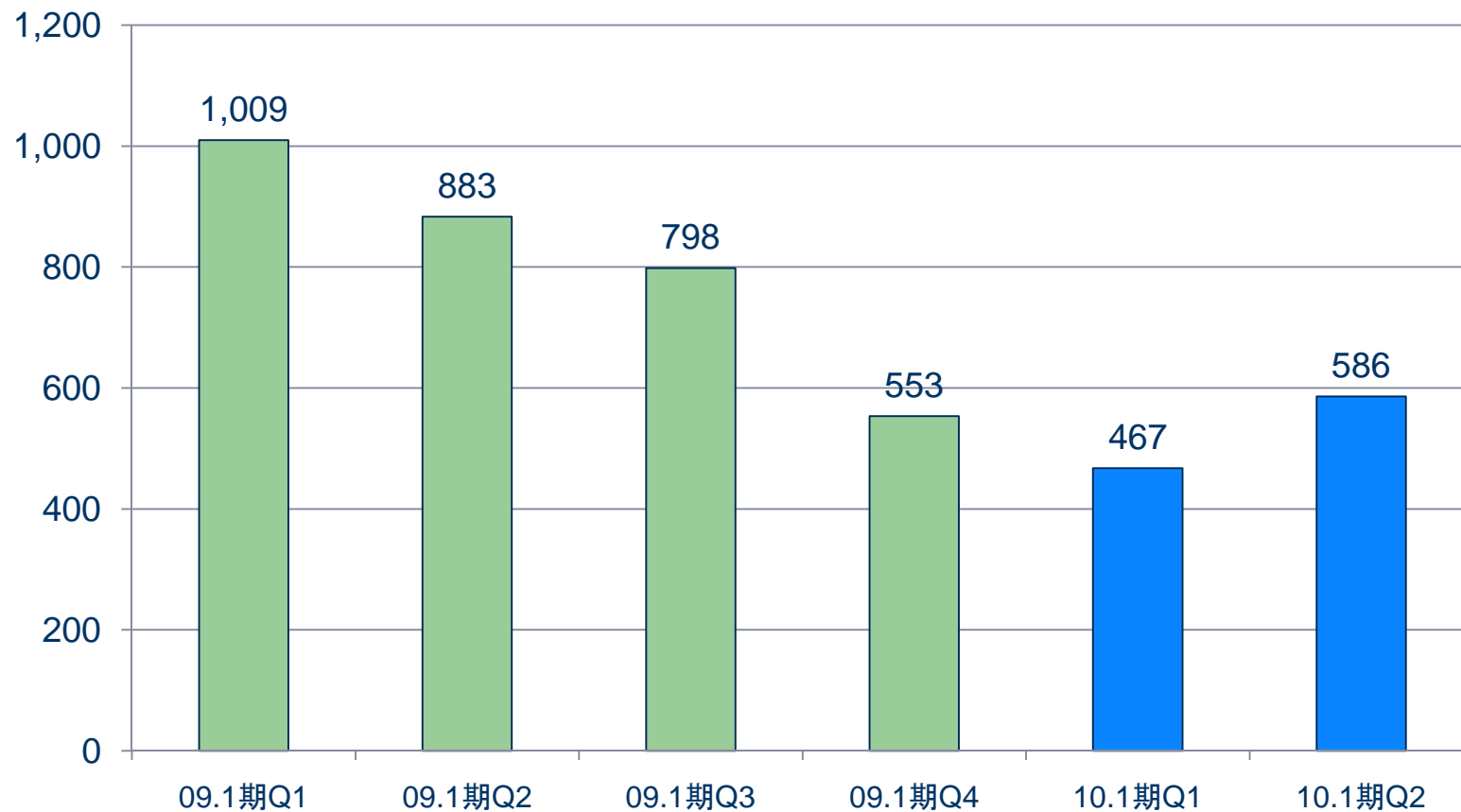
単位:百万円



！ 第1四半期の出遅れが大きく10.1期上期の業績が底

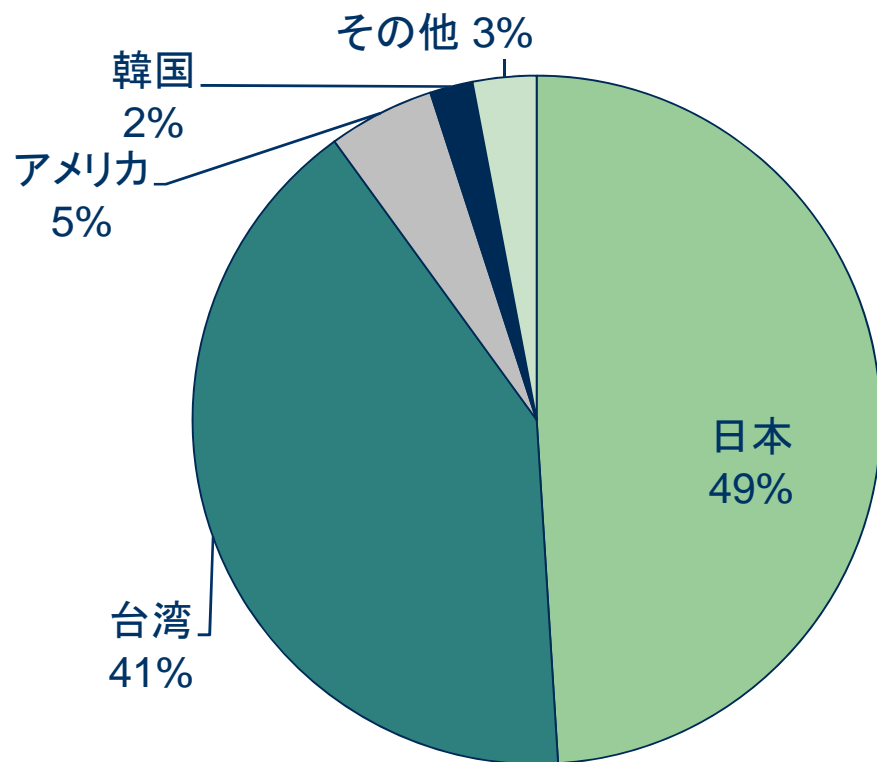
連結販売実績(四半期毎推移)

単位:百万円

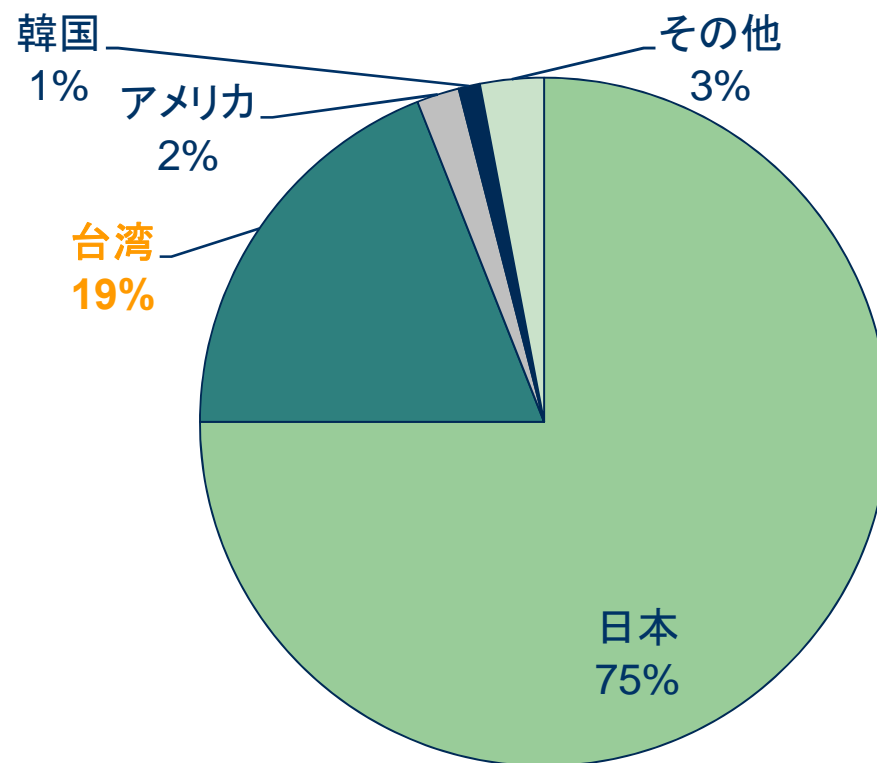


！ 10.1期Q2売上はQ1比25%増と若干の底打ち感

売上分析(ユーザー地域別)



09.1期上期



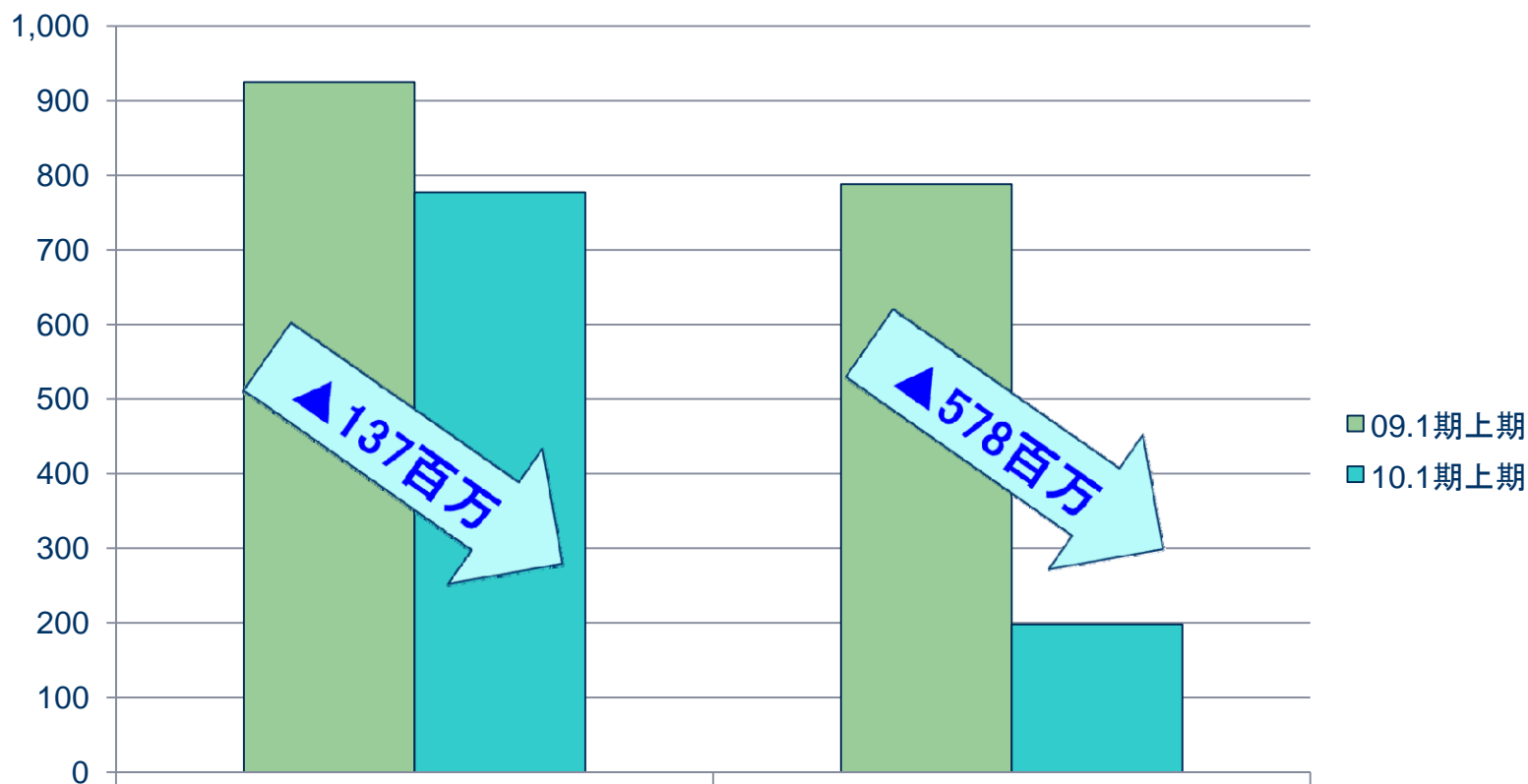
10.1期上期

**！ 海外向け売上、特に台湾市場における
売上減の影響が大**

※当社推定による概算値

売上分析(ユーザー地域別抜粋)

単位：百万円



※当社推定による概算値

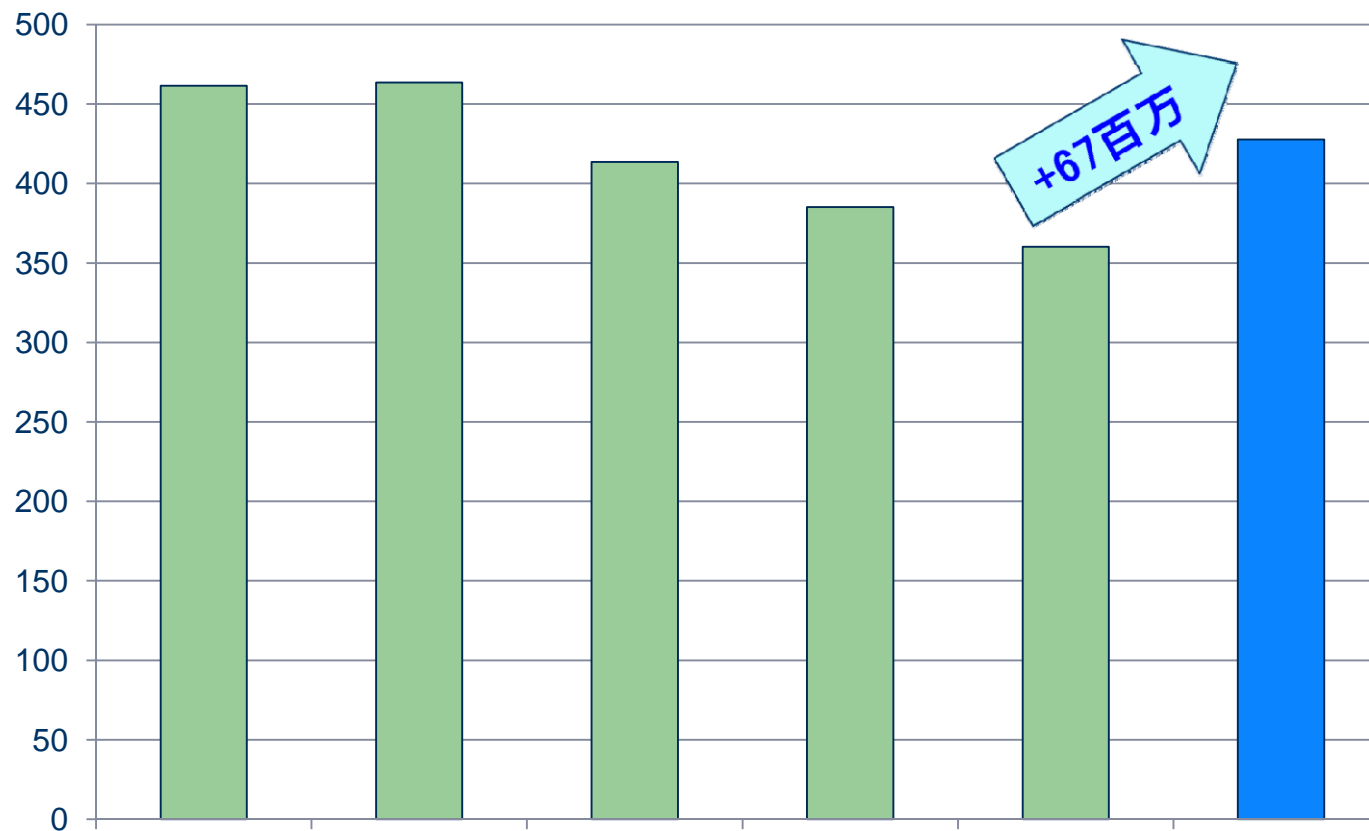
日本

台湾

！台湾向け売上が不況の影響を受ける

国内販売実績(四半期毎推移)

単位:百万円

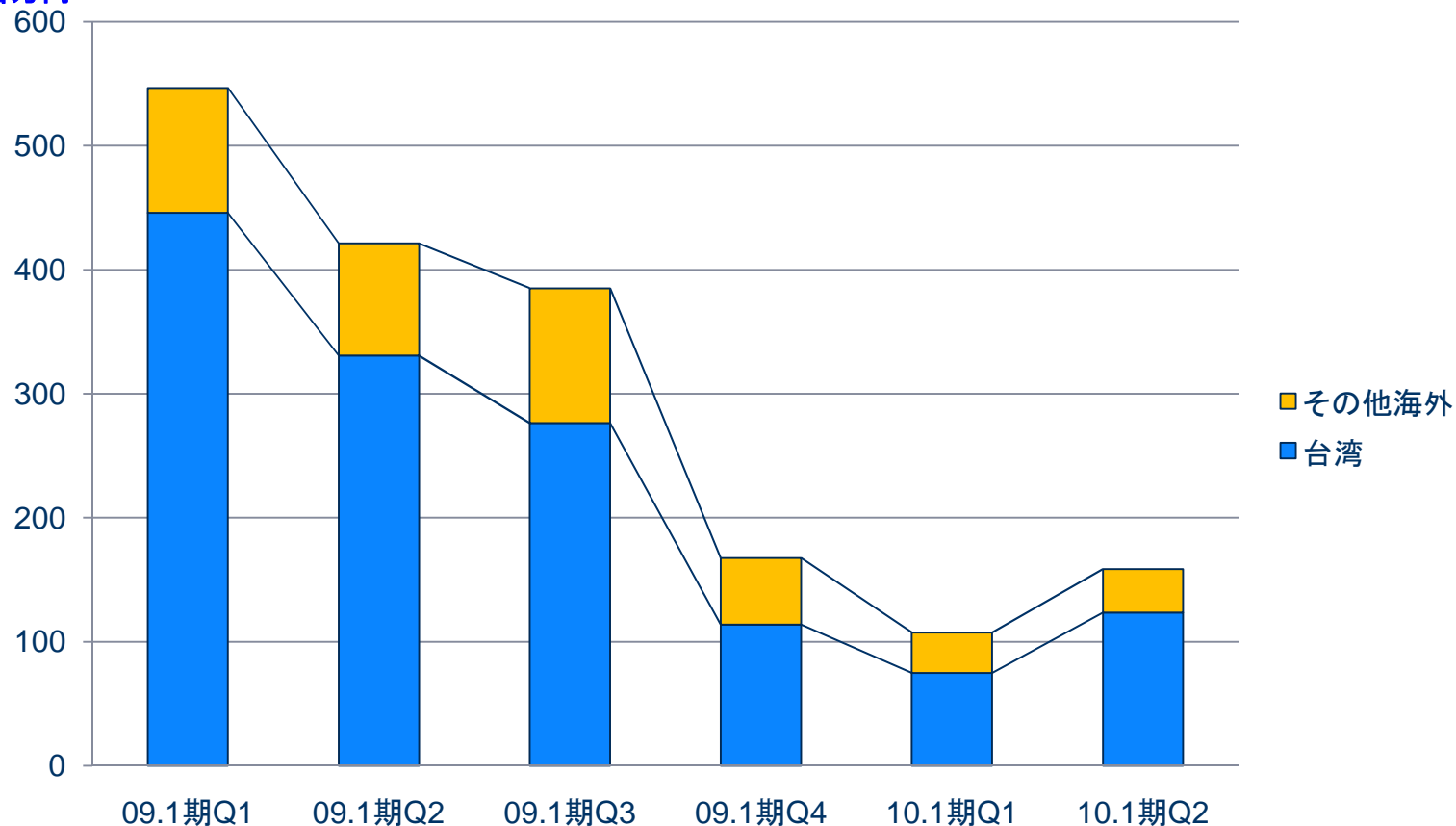


※当社推定による概算値 09.1期Q1 09.1期Q2 09.1期Q3 09.1期Q4 10.1期Q1 10.1期Q2

！ 10.1期Q2売上はQ1比18.7%増 09.1期Q2比で7.6%減と底打ち感

海外販売実績(四半期毎推移)

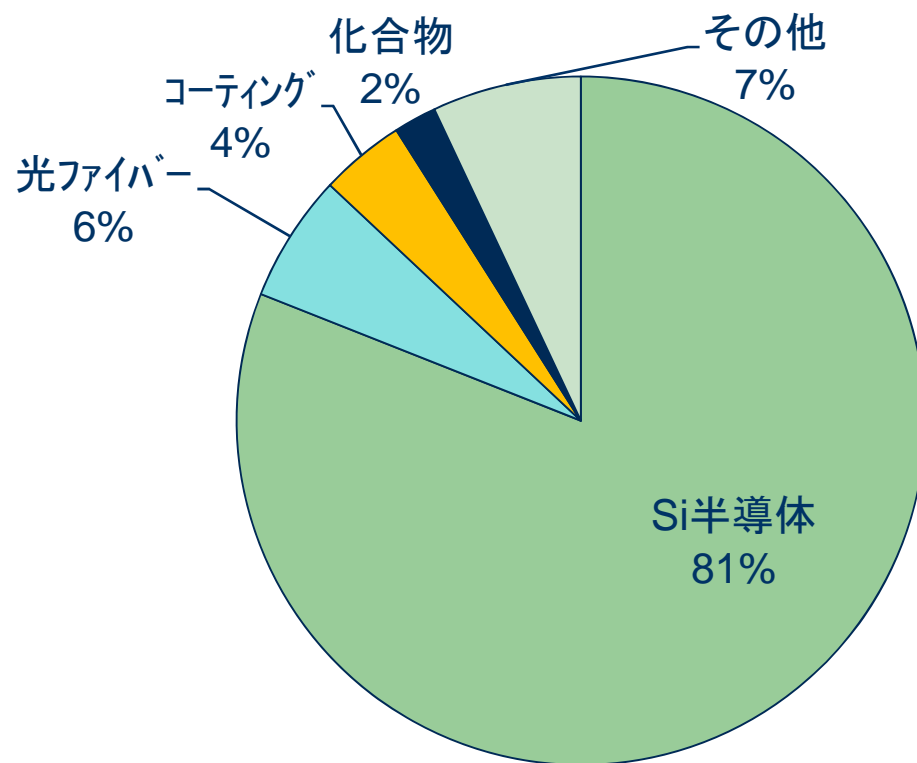
単位:百万円



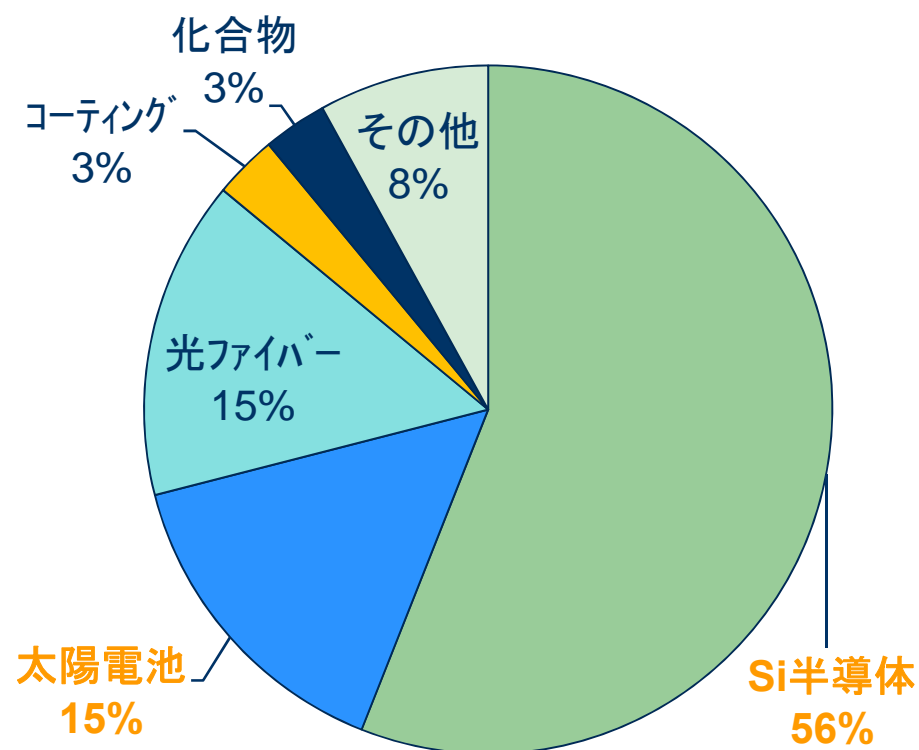
※当社推定による概算値

！台湾向け売上も最悪期は脱出か

売上分析(製品用途別)



09.1期上期



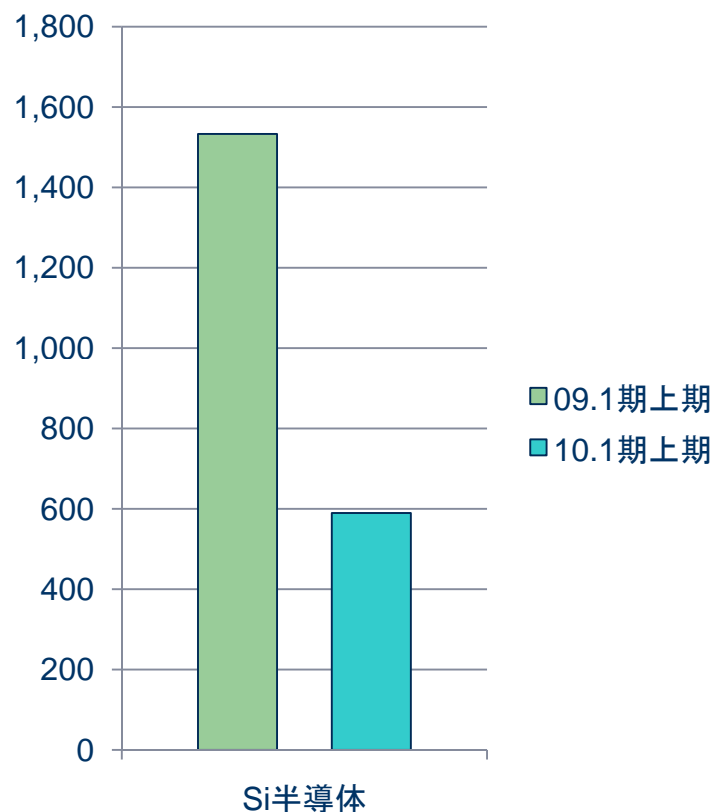
10.1期上期

※当社推定による
概算値

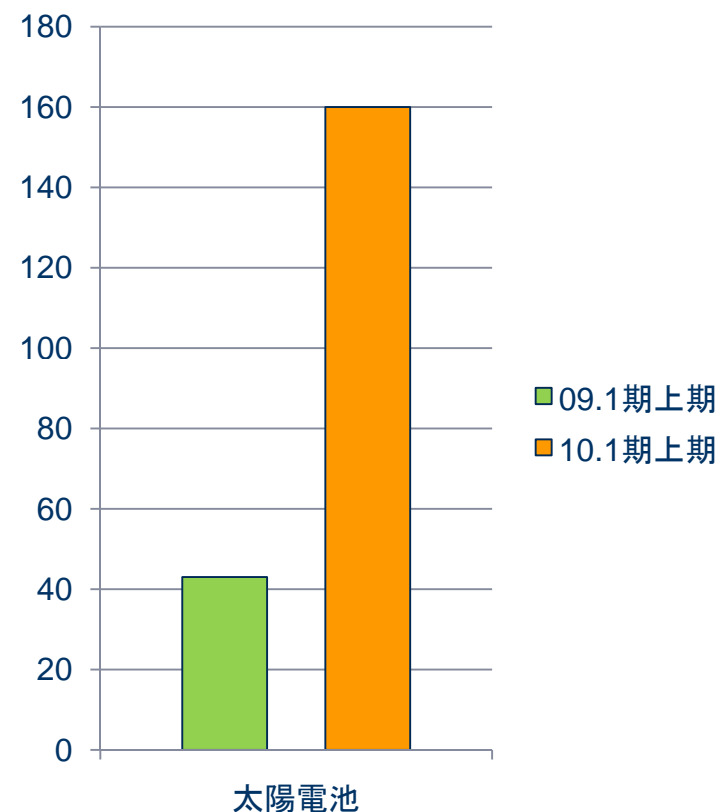
！ Si半導体向け材料の売上減
！ 太陽電池・光ファイバー向け材料は堅調

売上分析(製品用途別抜粋)

単位: 百万円



単位: 百万円

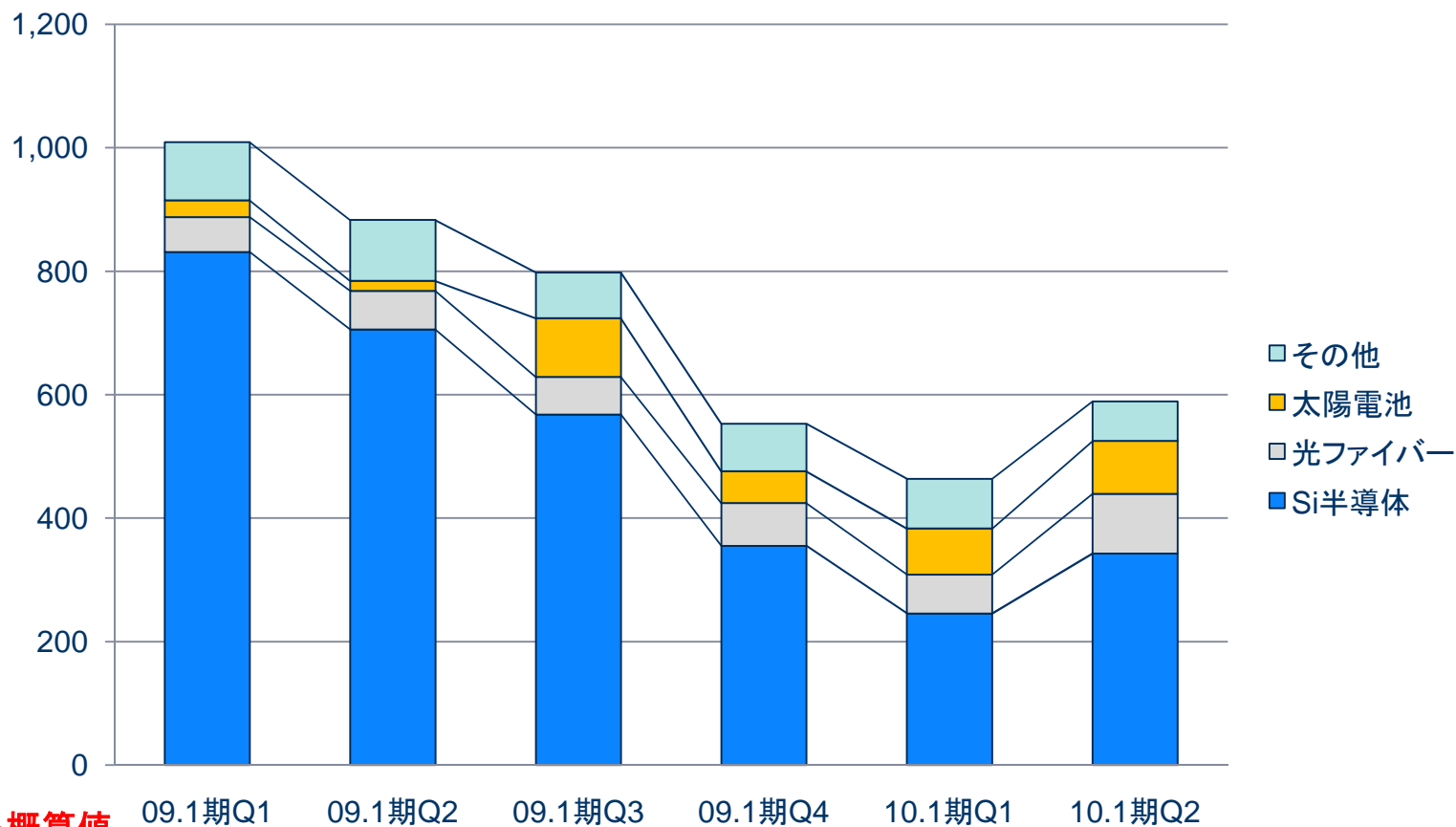


！ 半導体向け材料の大幅な売上減少

※当社推定による概算値

製品用途別販売実績(四半期毎推移)

単位:百万円

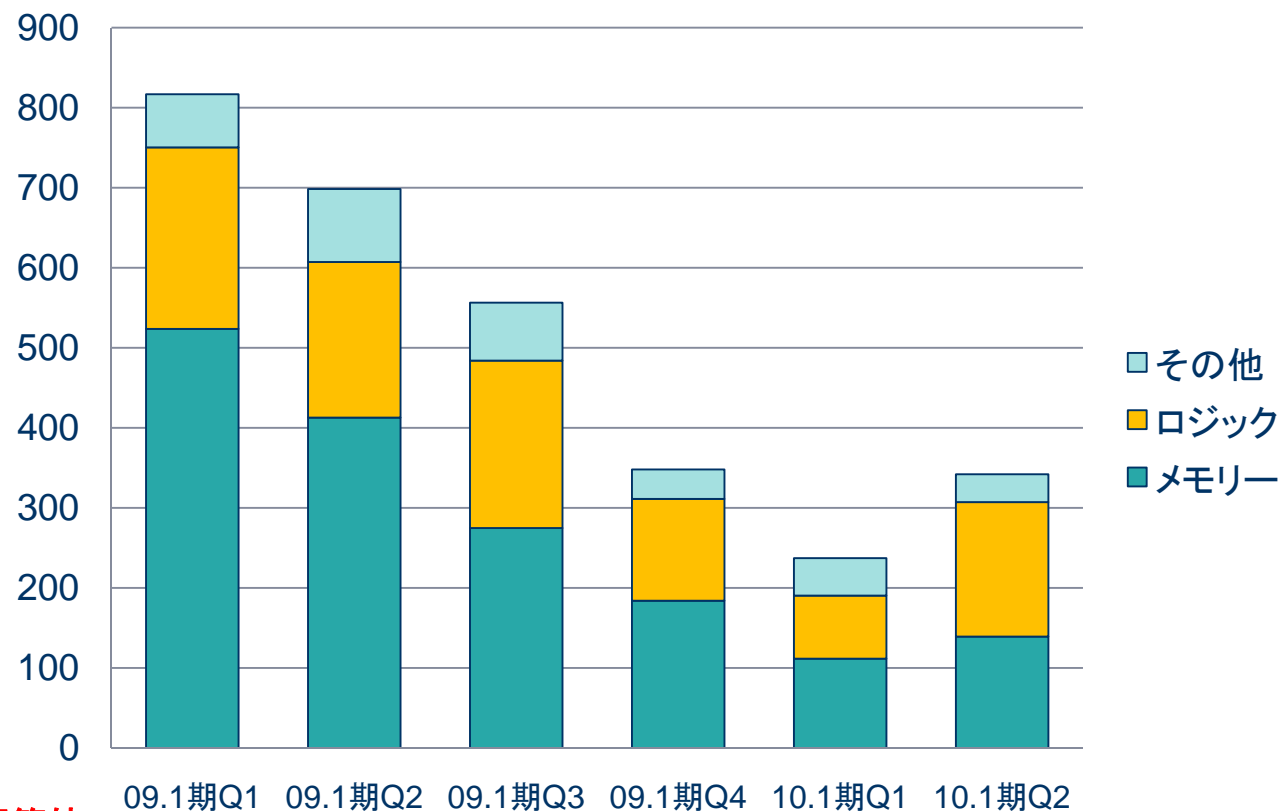


※当社推定による概算値

! Si半導体・光ファイバー・太陽電池ともにQ2はQ1に比して成長

Si半導体用途別販売実績(四半期毎推移)

単位:百万円

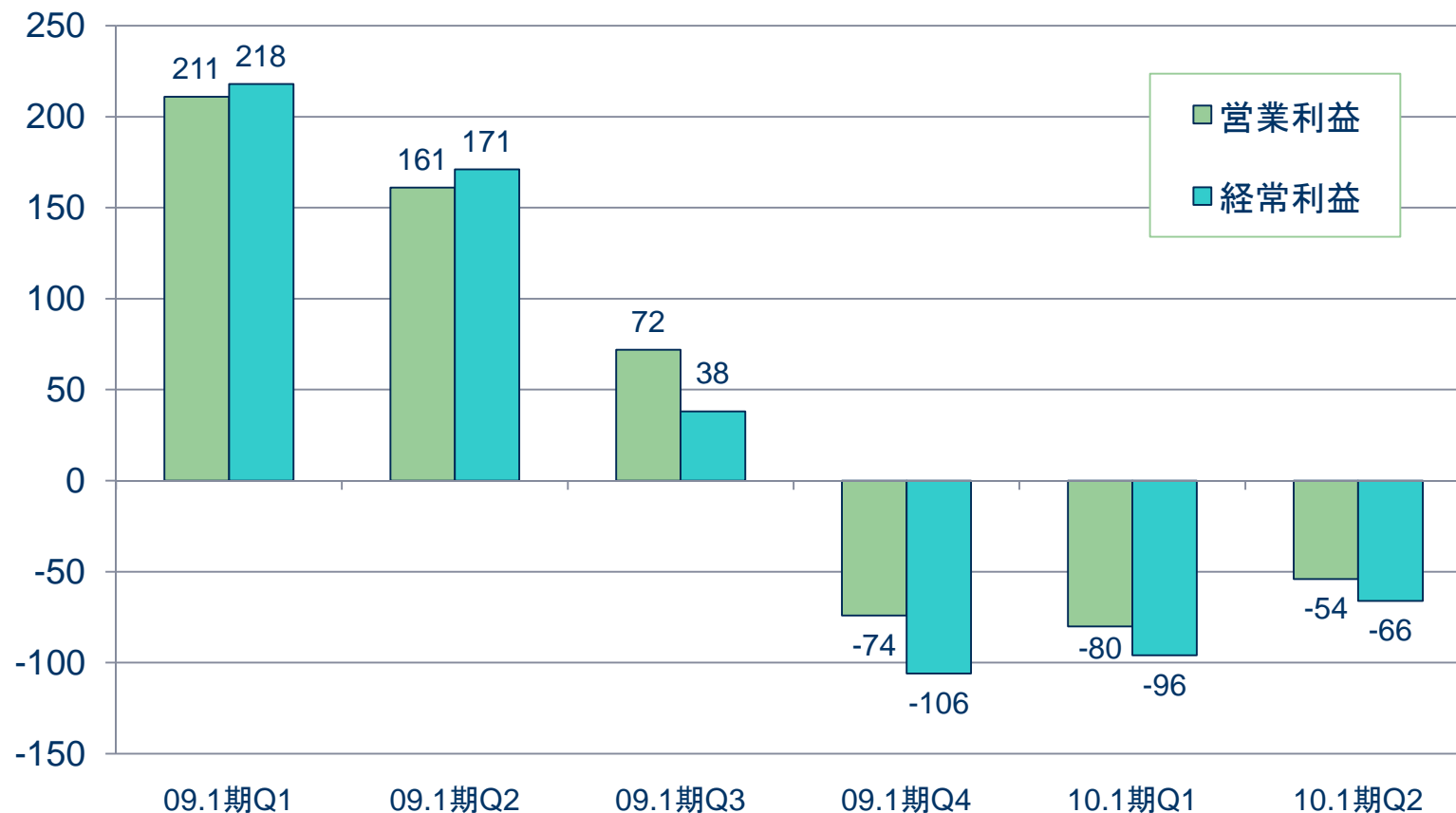


※当社推定による概算値

！ロジック系は大きく回復したがメモリーの本格回復はまだ

連結利益実績(四半期毎推移)

単位: 百万円



09.1期Q4を底に利益ベースも若干の改善傾向

2010年1月期第2四半期決算総括

売上

半導体不況の影響の傾向・度合いはほぼ想定通りで若干の回復傾向
台湾半導体(主にDRAM)向けの出荷減が業績落ち込みの主要因
光ファイバー向けは好調、太陽電池向けはほぼ想定通り

利益

09.1期Q4を底に徐々に回復傾向
経費削減努力等により製造経費中心に計画より若干の改善

2. 2010年1月期通期見通し及び戦略

2010年1月期通期見通し(連結)

単位:百万円

	10.1期 上期	10.1期 (通期見込)	09.1期	前年比
売上高	1,053	2,410	3,244	74.3%
営業利益	-134	-140	371	—
経常利益	-163	-175	321	—
当期純利益	-171	-181	150	—

！業績の回復に伴い下期は売上・利益ともに回復傾向の見込み

2010年1月期売上計画の要因と課題

要因

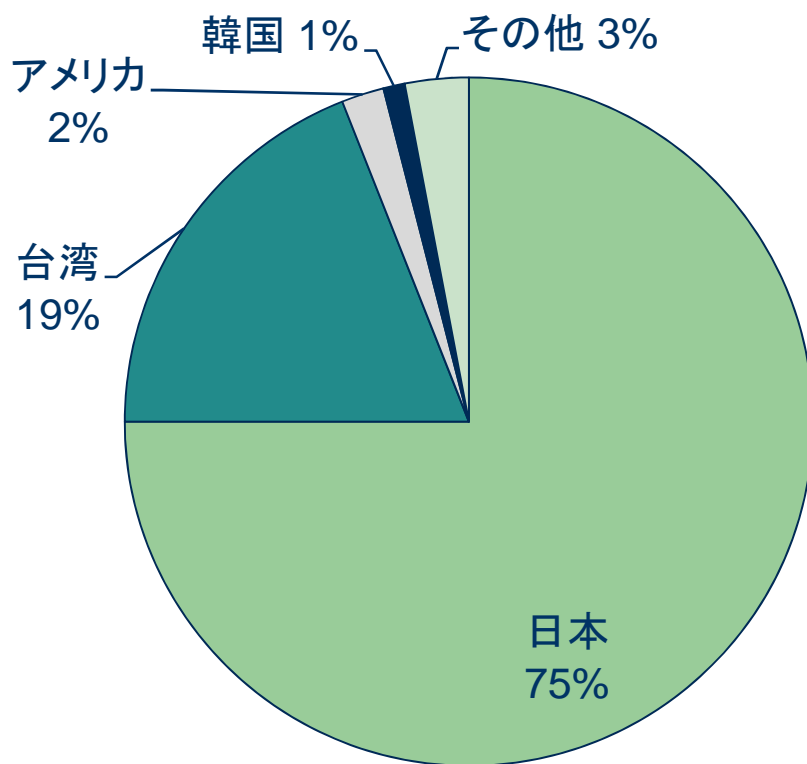
- ・主力の半導体向け材料に底打ち感
- ・日本国内の半導体向け販売は比較的堅調に推移
- ・太陽電池向け等材料の需要増に伴う業績向上
- ・光ファイバー向け材料も堅調に推移

課題

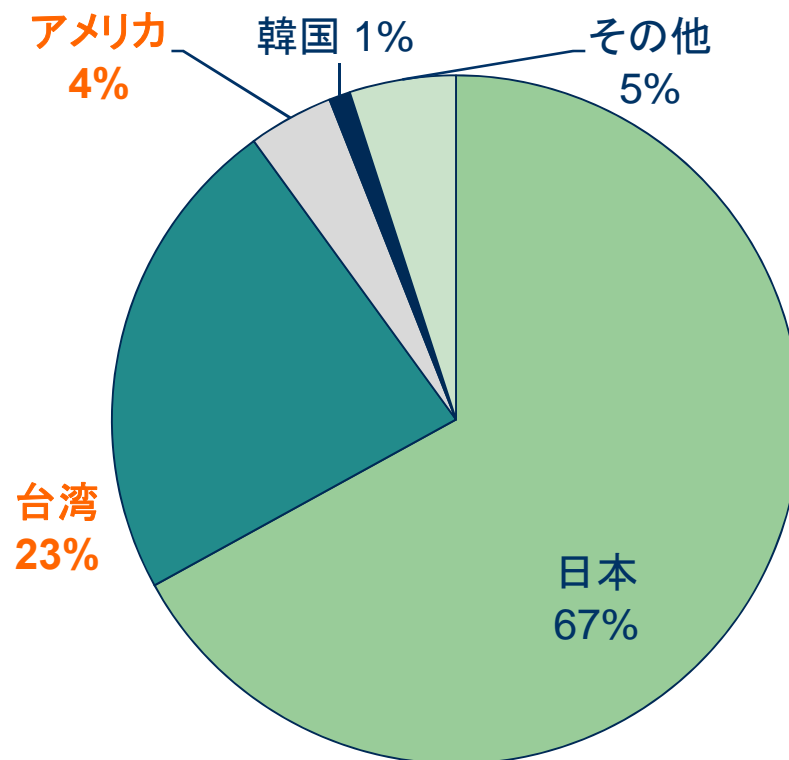
- ・台湾DRAMメーカーの業績回復動向を注視
- ・太陽電池の更なる拡販に注力

売上進捗分析(ユーザー地域別)

10.1期上期実績



10.1期通期計画(09.3月発表)

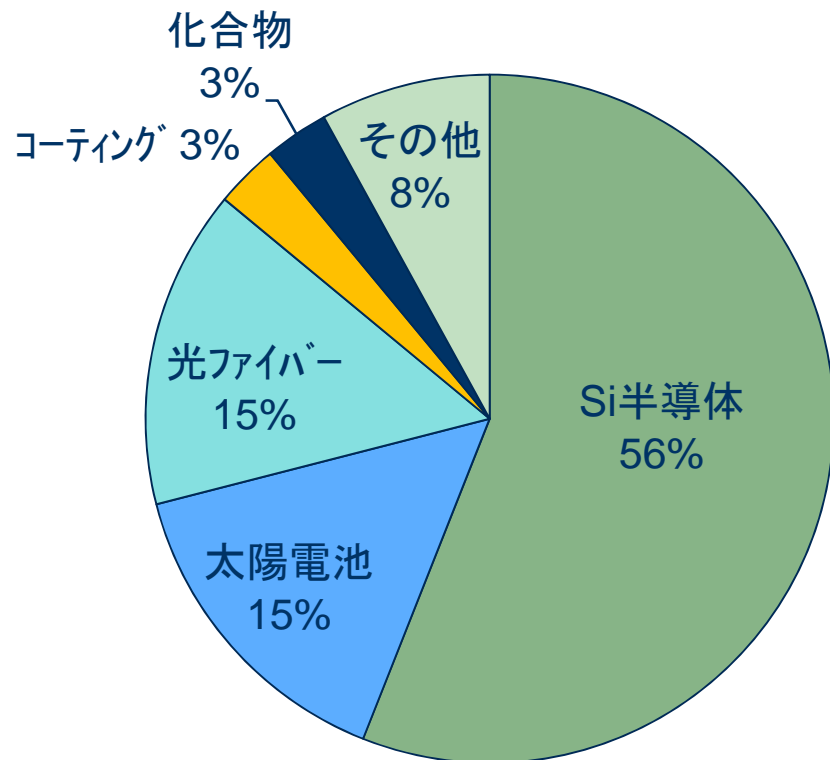


※当社推定による概算値

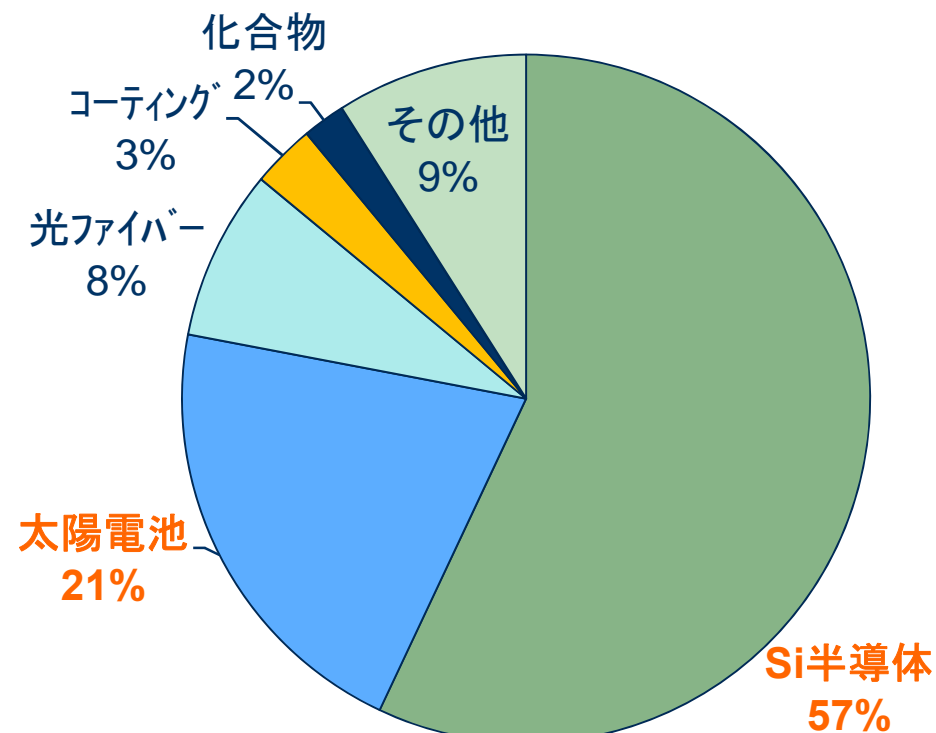
！台湾・アメリカ向けの回復が課題

売上進捗分析(製品用途別)

10.1期上期実績



10.1期通期計画(09.3月発表)

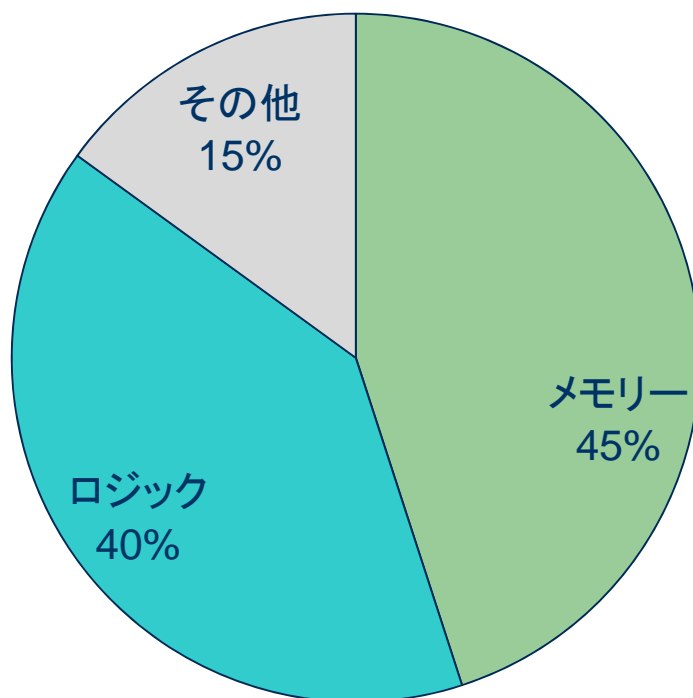


※当社推定による概算値

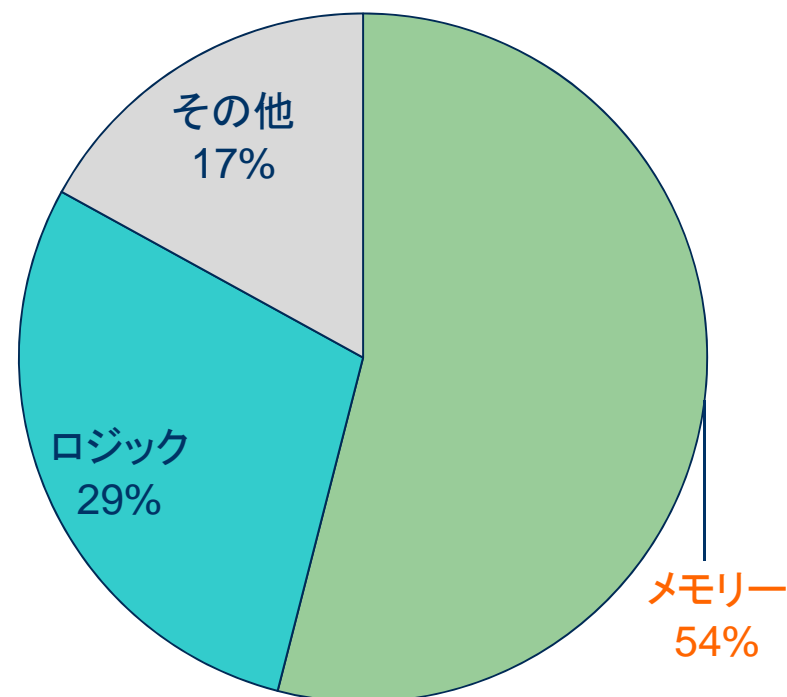
！半導体の回復と太陽電池向け材料の拡販に注力

売上進捗分析(シリコン半導体)

10.1期上期実績



10.1期通期計画(09.3月発表)



※当社推定による概算値

！ロジック向けは堅調な進捗、メモリー向けの回復がカギ

2010年1月期利益計画の要因と課題

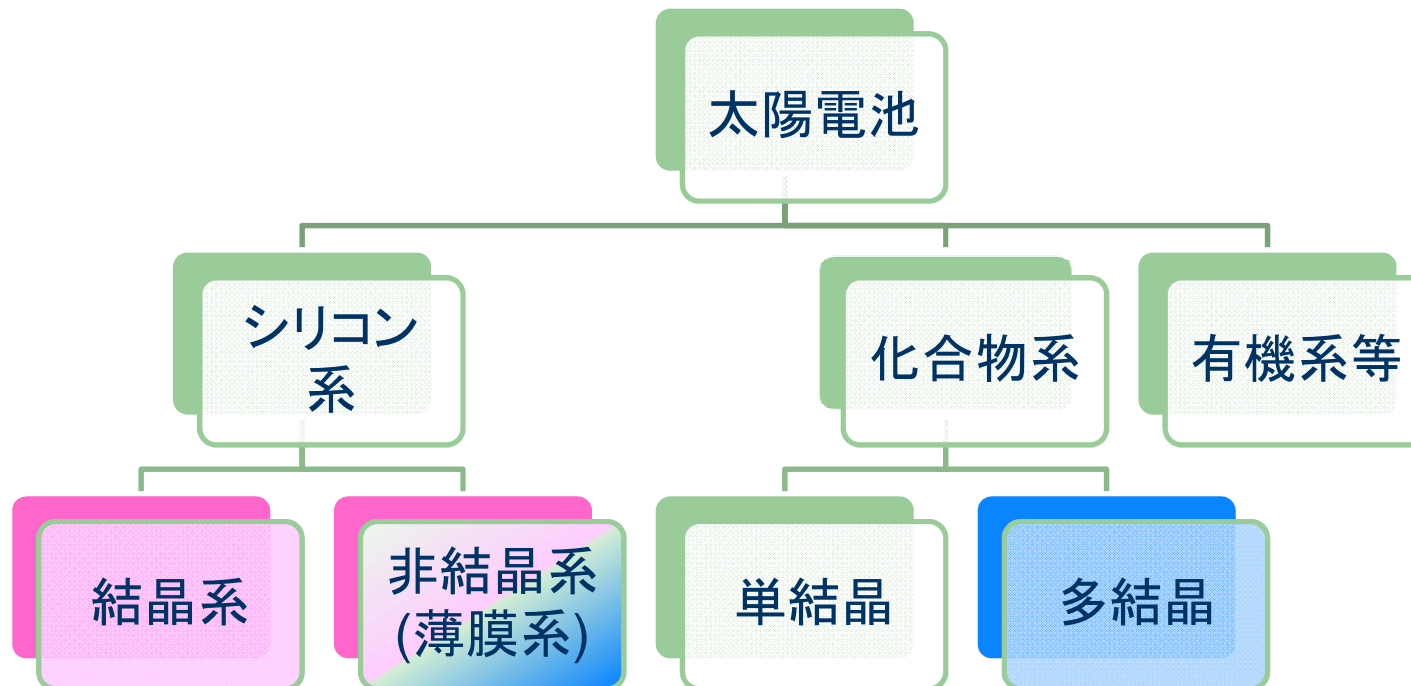
要因

- ・経営効率化策の顕在化による収益性の改善
- ・売上の回復に伴う量産効果による利益性向上

課題

- ・更なる省力化・合理化の検討
- ・新規投資・経費等の抑制は当面継続の方針

トピック(1)太陽電池向け材料①



当社の製品

透明電極用材料

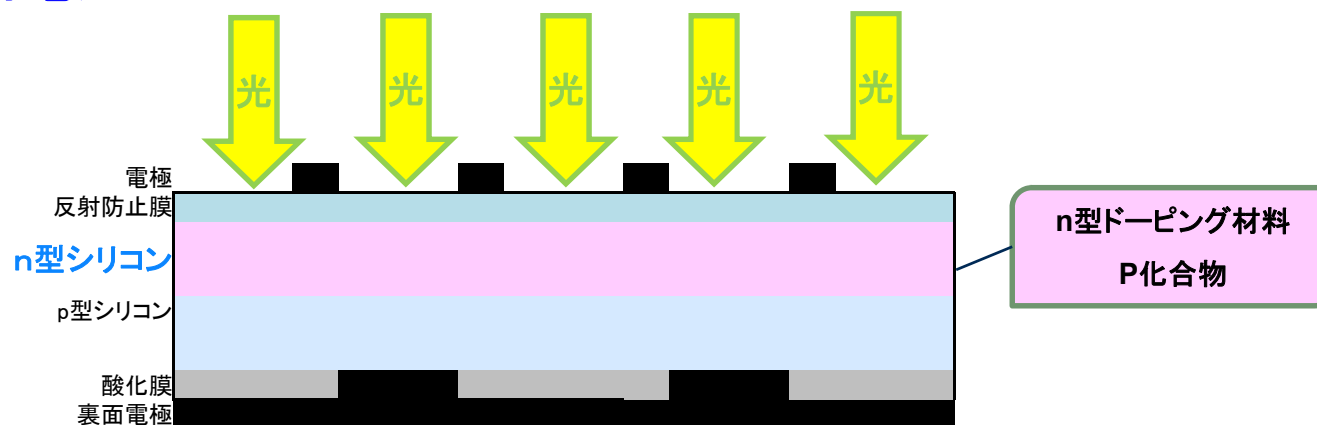
太陽電池の中でも成長の見込まれる分野が向け先
当面の成長が期待される

ドーパント材料

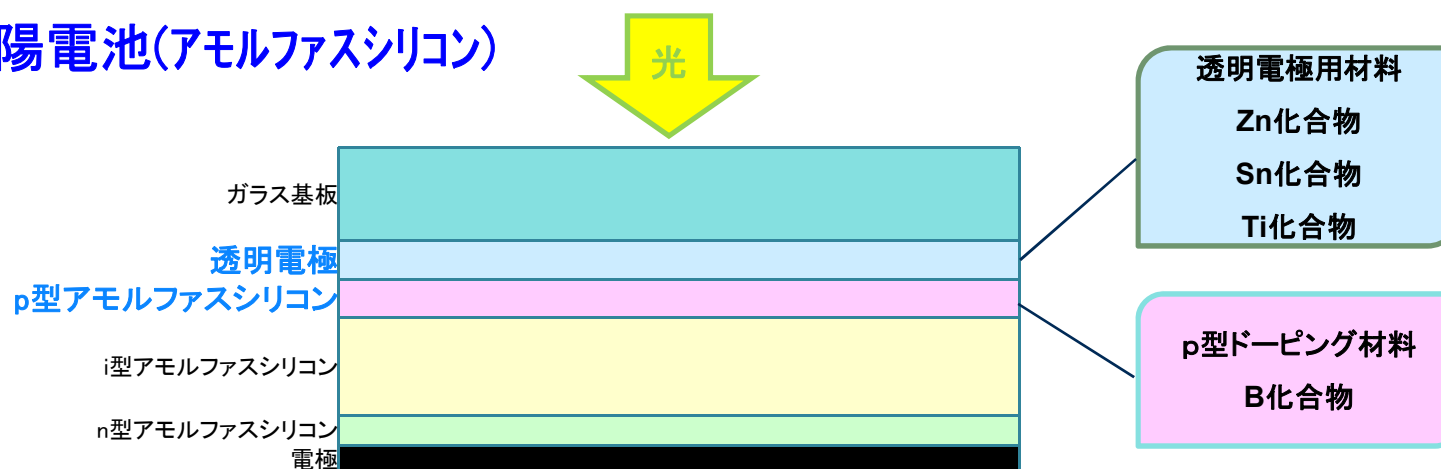
今後とも安定した出荷が見込まれる

トピック(1)太陽電池向け材料②基本構造と当社の材料

結晶型太陽電池



薄膜型太陽電池(アモルファスシリコン)



トピック(2)開発体制強化

半導体業界の現況

各社業績は対前年度比で依然マイナスだが底打ち感も



一部メーカーにおいては投資意欲回復の兆し

微細化に伴う新規材料の開発案件・量産ニーズへの迅速な対応
他社に一步先んじた成長路線の回復



お問合せ先 : homepageinfo2@trichemical.com